

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です

子育て支援課 ☎47-1283



児童虐待とは…

- 身体的虐待** 殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、おぼれさせる など
- 性的虐待** 子どもへの性的行為、性行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
- ネグレクト** 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置、病気になるまで病院に連れて行かない など
- 心理的虐待** 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう (DV) など

虐待を受けたと思われる子どもがいたら
ご自身が出産や子育てに悩んだら
子育てに悩む親がいたら

児童相談所や、安芸高田市・子育て支援課の相談窓口にお電話ください。

虐待かもと思ったら、すぐにお電話をください。
あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。
連絡は匿名でも可能です。連絡した人や内容についての秘密は守られます。

児童相談所全国共通ダイヤル **0570-064-000**



児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。

厚生労働省

坂本重工株式会社様からオブジェを寄附していただきました

坂本重工株式会社様（代表取締役 坂本 伸幸様、本社：広島市西区、工場：吉田町竹原）から市章と神楽面のオブジェを寄附していただきました。

市章は昨年のアートまつりで展示するために作られ、神楽面は昨年の江の川・パフォーマンスいかだレースに、坂本重工株式会社として出場する際に作られました。どちらも素材は発泡スチロールで、市章は機械を使ってほとんどの形が作られ、神楽面はおおまかな部分は機械で削り、細かい部分は職人さんの手で削られています。

坂本重工株式会社様の「多くの人たちに見てもらいたい」という思いから、市に寄附された2つのオブジェは、クリスタルアーチ2階に展示してあります。来館の際は是非ご覧ください。



市長と寄附していただいた市章と神楽面のオブジェ

市内13小学校の4年生を対象に「若年性生活習慣病予防事業」が始まりました！
保健医療課健康推進係 ☎42-5633

若年性生活習慣病予防事業とは…

【目的】児童に健診の大切さや意義を理解してもらい、場を提供し、実際に自分の身体について理解し生活習慣病の予防に努め、将来的に健康で生活できることを目的とした事業です。

【対象者】安芸高田市立各小学校4年生
＜実施状況＞

○6月～7月に各小学校において、きれいな血液を作るための健康学習を行いました。
○9月～10月に各小学校において希望者に対し血液検査を行いました。(225人中189人の採血)
○1月～2月に要指導者に対し保健指導(保護者同伴)を予定しています。

※来年度も、小学校4年生を対象としてこの事業を実施する予定です。



学習風景



採血風景

市長コラム

ワイド版 第76回

経営戦略としての「農業改革」に期待

農業は安芸高田市にとって主要な産業であり、大切な生活の糧であります。政府は日本の農業を守るためあらゆる施策を行ってまいりました。米価を税により安定させる「食糧管理法」、外国米の輸入に対する「関税」、米の生産調整「減反政策」等、様々な施策を通じて守ってきた経緯があります。このことにより、中山間地域の小規模の稲作農家が救われてきた事は事実であります。我が国の農業は手厚い保護政策により、ある程度守られてきました。一方では農家の農業意欲の衰退、コスト意識が無くなった事もまた事実であります。また、米への依存度が高く、野菜や果実、畜産への転換が進んでいない現状もあります。

我が国の農業産出額はピーク時の1984(59)年で11.7兆円、2012(H24)年で8.5兆円と大きく後退しました。特に政府として米政策を施したにもかかわらず、米の産出額は半減しております。その原因は、食の多様化による米消費の減少などがあげられますが、このことがさらに農家の米生産に対する意欲低下を招いています。

日本の輸出は自動車等工業製品が主であり、農作物の割合はわずか0.8%であります。このことから日本政府は基本的に、今後のTPP交渉においてあらゆる関税を自由化し撤廃する方が日本にとって有利と考えていると思えます。農業が主要な産業である安芸高田市として、TPP交渉による農産物の関税撤廃は賛成ではありません。しかし、国策として実施されるのであれば、中山間地域

が生き残ることのできる、これまでとは異なる対策を講じて、担い手農家とともに兼業農家が守られ、国民の生活が守られる抜本的な「農業改革」を望むものであります。

政府は成長戦略の目玉として、「農業改革」を掲げ、農業分野の規制を緩和する改革を決定し、新しい「農業・農村政策」を発表しました。この改革は意欲ある農業経営者が存分にチャレンジ出来る環境を整備することにも、農村の多面的機能を維持し、食料自給率を向上させ、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山村」の創造を目指し、美しい農山村を次世代に継承することを目標に「農地の多面的機能を支える」「日本型直接支払い制度の創設」②「需要に応じた主食米の生産が行えるよう、環境整備を進める」「水田フル活用と米施策の見直し」③意欲ある農業者が幅広く参画できる「経営所得安定対策の見直し」④農地利用の集積・集約化を加速する「農地中間管理機構の創設」の4つの改革をスタートさせました。

いすれにしても、「もつ農業はダメだ」と諦めず、再生に向けて努力をすべきであると思えます。TPP交渉をきっかけに、農地の集積を推進し、大規模化を図り、農業生産を高める一方で耕作放棄地の対策を有効に実施し、地域全体で農業の効率を高める必要があると思えます。また、農地を企業に貸し雇用・経営に参画する事も考えられます。民間会社の農地の所有を認め、企業参入を促す対策も今後のまちづくりのあり方として考える必要があると思えます。

中山間地域の農地は、農産物の生産地のみならず、洪水調節や環境保全の多面的機能を有する事を国民にPRし、もっとも若者に中山間地域の良さを理解して頂き、訪れて頂き体験して頂きたい。都市から田舎へU・Iターンを希望する若者は増加傾向にあります。若者に魅力ある安芸高田市を創出し、多くの若者に帰って来て頂きたいと思えます。



減らそう犯罪 ⑧1 詐欺電話を100%防ぐ方法

振り込め詐欺、パンフレットの送り付けなど警察や市役所を名乗る電話など詐欺の口は様々です。しかし、犯人が必ずする事は電話での会話です。そこで、詐欺電話を100%防ぐには

常に留守番電話にしておく

ということです。会話ができれば、あなたを騙す方法が無くな

ります。録音内容を、後で落ち着いて聞けばよいのです。落ち着いていれば、人に相談することもできます。家族や知り合いなら、途中で受話器をとればよいのです。

留守番電話を実践して下さい



- 運動の重点 ○飲酒運転の根絶 ○高齢者の交通事故防止

例年、この時期は、夕暮れ・夜間の交通事故防止を図るため、車両の運転者に対する「早めのライト点灯」上向きライトの励行(こまめな切り替え)及び自転車のライト点灯を促進する運動を展開中です。

- 歩行者の方へ
 - ・夕暮れ・夜間は、反射材を活用して、車や自転車に自分の存在をアピールしましょう。
 - ・道路を横断する際は、昼間以上に左右の安全を確認して横断しましょう。

～広島県では、「点ける広島県」ライト点灯運動実施中～

安芸高田警察署交通ミニコーナー H26.10末現在 ●平成26年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	本年	前年	前年同期比増減数
人身事故	101件	110件	-9件
死者数	0人	3人	-3人
負傷者数	151人	137人	+14人

行楽の時期となり交通量も増加傾向にあります。緊張感を持った運転に努めましょう。

○年末交通事故防止県民総ぐるみ運動が始まります！
●12月11日(木)から12月20日(土)までの10日間
・スローガン「ゆずりあい そのやさしさも おもてなし」